

-----6月14日-----

今週のアウトルック(6/14~6/18)

先週は円高小休止的な動きでした。

もう一段の円高を狙うにはエネルギー不足、あるいは材料不足という感じで、ブレイクに行っても、参加者が今ひとつついてこない、という状況が何回かあったように思います。そのうち、週後半には買い戻しからの円安傾向が少し出てきた感じです。この傾向が今週も続くのかについては、まだわからないように思います。

ドル円は91円から92円の間で、小康状態の様子です。今週も新しい材料が出にくい状況にあるため、この傾向が今しばらく続くように思います。

ドル円の予想レンジは91円から93円です。

ユーロ円は、ユーロドルが1.2割れの達成感から、このまま買い戻し主流の動きに変わるのかがポイントとなりそうです。

しばらくは買い戻し主流の動きが続きそうですが、ハンガリーやブルガリア、さらには新たな懸念材料の勃発で、いつでも大きくユーロ売りに向かう方向転換は起こりそうです。投機筋はそのきっかけをまだ待っている、と考えた方が良いでしょう。ユーロ円の予想レンジは108.5円から113.5円です。

ポンド円は、先週130円のサポートラインでしっかり支えられて、大きくポンド高に戻った感じです。ただ、週末には135円あたりのレジスタンスに阻まれて、少しポンド売りが出ている感じです。今週も、新たな懸念材料が出てこない限り、この動きに近いものになるのではないかと考えています。

ポンド円の予想レンジは132円から137円です。

ユーロ売り、NYダウ売りの材料を探す状況はしばらく続きそうです。基本的にはファンダメンタルズに沿った動きではなく、あくまで投機筋の動きやすい方向に、理由を後付けしていると考えた方が、理解しやすいように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。